

Cisco Unified Communications with IBM Lotus Sametime

主旨

Cisco Unified Communications with IBM Lotus Sametime は、シスコ ユニファイド コミュニケーションのコンポーネントと Lotus Sametime を統合します。その結果、Lotus Sametime のユーザは次のことを実現できます。

- 音声およびビデオ コールの発信
- 音声、ビデオおよび Web コラボレーション セッションの開始
- 通話中の連絡先の表示
- ボイスメールへのアクセスと管理

ソリューションの概要

シスコと IBM® は、共同でコミュニケーションとコラボレーションの新しい方法を実現しています。それは、オープンで、タイムリーで、効果的な方法です。両社が提供するクラス最高のユニファイド コミュニケーション機能を使用すれば、ビジネス プロセスを変革し、新たなレベルの生産性に到達できます。IBM Lotus® Sametime® を使用したシスコ ユニファイド コミュニケーションは、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムと IBM Lotus Sametime

の主要コンポーネント間の、高度な統合を実現します。Lotus Sametime ユーザは、各自の連絡先リストと Instant Messaging (IM; インスタント メッセージング) セッションから、手軽に音声またはビデオ コールを発信し、統合された音声、ビデオ、および Web コラボレーション セッションを開始できます。また、Lotus Sametime クライアントから直接、電話の使用の確認、およびボイスメールへのアクセスや管理を行うことができます。これらの機能によって、コミュニケーションが合理化され、コラボレーションが向上されるため、時間の節約、生産性の向上、および意思決定の迅速化が可能になります。

Cisco Unified Communications with IBM Lotus Sametime は、モジュラ プラグインのスイートとして実装され、スイート全体を使用したり、お客様のニーズに最適な個々の機能を選択したりできる柔軟性を提供します。

- **Cisco IP Telephony with IBM Lotus Sametime** — Lotus Sametime から音声およびビデオ コールを開始するお客様向けに、シスコはクリックツーコール機能を組み込みました。シスコは、Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified IP Phone、および Lotus Sametime でシスコ製クライアントを使用することにより、音声およびビデオのクリックツーコール機能を実現しました。1 つのオプションとして、Lotus Sametime クライアントと Cisco IP Communicator および Cisco Unified Video Advantage を直接統合すると、連絡先リストと IM セッションから音声およびビデオ コールを開始できます。シスコのボイスメールと Lotus Sametime を統合してこの機能を使用すると(下記の「IBM Lotus を使用したシスコ ユニファイド メッセージング」を参照)、Lotus Sametime に表示されるボイスメール レコードのコールをクリックすれば、簡単にコールを返すことができます。また、このオプションにより、Cisco Unified IP Phone ユーザは Lotus Sametime からの着信コールの応答、管理、コールや会議の開始を行うことができる電話機制御モードを利用できます。Cisco Unified Communications Manager とのサーバベースの統合を希望するお客様は、Lotus Sametime に組み込まれている基本的なコール機能からの操作が可能で、別のクリックツーコール オプションを利用できます。
- **Cisco Presence with IBM Lotus Sametime** — Lotus Sametime で提供されているプレゼンス ステータス オプションに加えて、ユーザは、連絡先の相手が電話中であることを示すフォン プレゼンス インジケータを確認することもできます。この機能によって、連絡の必要がある相手に対して最も効率的な連絡方法を選択でき、不必要な中断や「電話機タグ」の再生を回避できます。

- Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime** — Cisco Unity® と Cisco Unity Connection の統合により、ボイスメールを Lotus Sametime クライアントから直接管理できます。機能としては、ボイスメールの一覧表示、ボイスメールの再生と管理、および再生済み、未再生、消去の各ステータスに基づいたボイスメールのフィルタリングなどがあります。この統合によって、新しいメッセージの着信が即座にわかるため、ユーザはより迅速な対応が可能になります。

図 1 IBM Lotus Sametime を使用したシスコ ユニファイド コミュニケーション

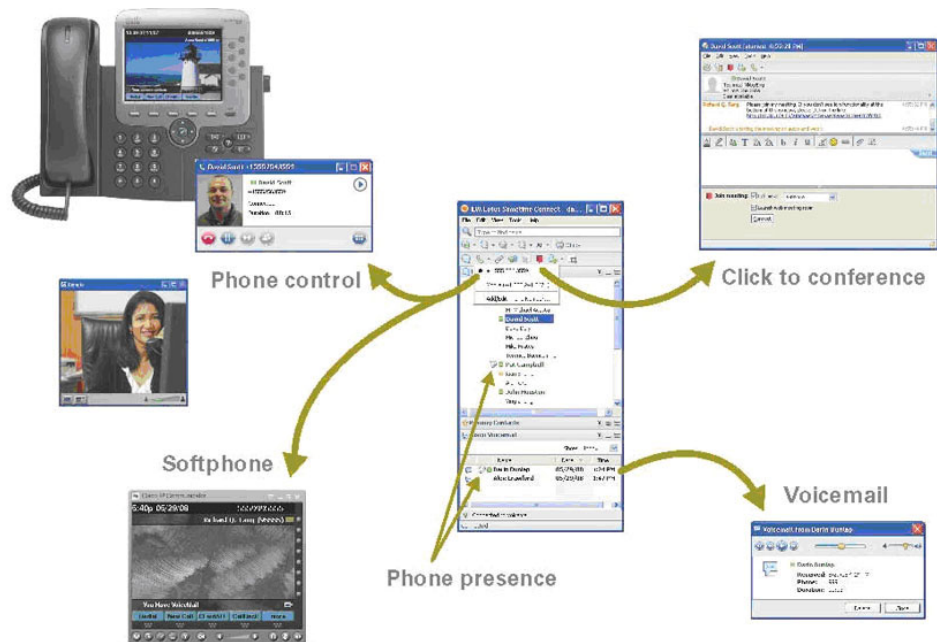
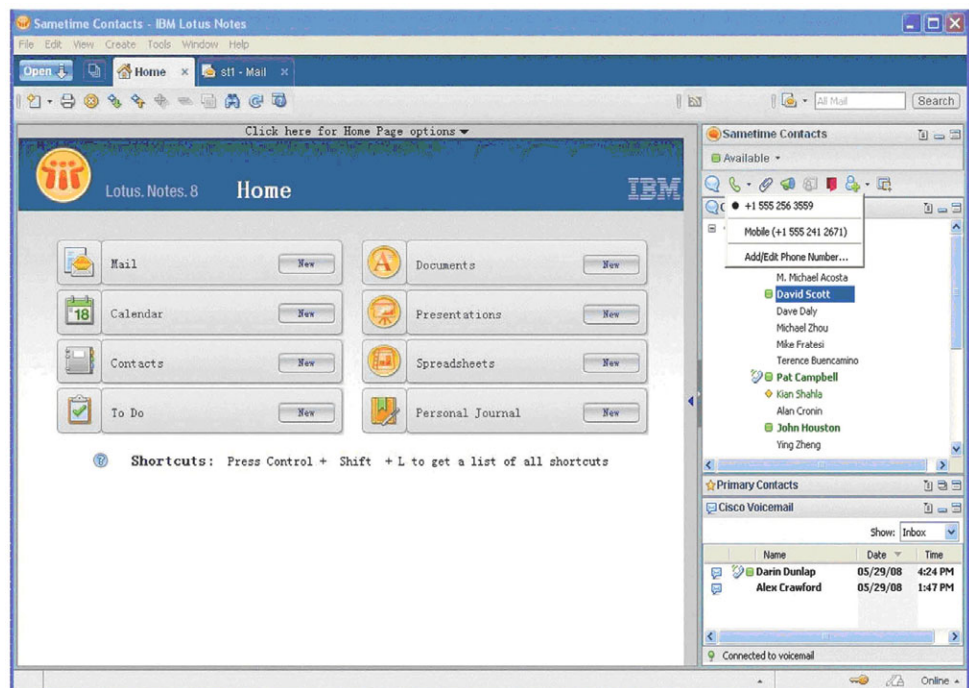


図 2 IBM Lotus Sametime と IBM Lotus Notes を使用したシスコ ユニファイド コミュニケーション



- Cisco Conferencing with IBM Lotus Sametime** — Cisco Unified MeetingPlace[®] との統合により、お客様は、Lotus Sametime のプレゼンスおよびテキスト メッセージング機能に会議のセットアップを追加できます。これによって、連絡先リストや IM セッションから直接音声、ビデオ、および Web のコラボレーション セッションを容易に開始し、参加することができます。Web コラボレーション コンポーネントは、Unified MeetingPlace または WebEx[®] のいずれかを使用するように設定できます。

Lotus Sametime を Lotus Notes[®] と統合し、Lotus Sametime を Lotus Notes クライアント内のペインに表示できます。この構成で導入すると、上記で示したプラグインにより Lotus Sametime のネイティブ機能とシスコ ユニファイド コミュニケーションの機能に、Lotus Notes 内からアクセスできます(図 2 を参照)。

導入する場合は、Cisco Unified Communications with IBM Lotus Sametime のプラグイン スイートを Cisco.com からダウンロードするだけで(下記の「発注情報」を参照)、シスコ ユーザと IBM Lotus ユーザの現在の使用環境を統合できます(システム要件については表 1 を参照)。

システム要件

表 1 に、Cisco Unified Communications with IBM Lotus Sametime のシステム要件を、IBM Lotus のコンポーネントとシスコ ユニファイド コミュニケーションの各機能別に示します。

表 1 システム要件

コンポーネント	要件
IBM Lotus Sametime	Lotus Sametime バージョン 7.5.1 CF1 以降
および/または	
IBM Lotus Notes	Lotus Notes 8.0.1 以降
IP Telephony — Cisco IP Communicator Click to Call with IBM Lotus Sametime *	
クライアント プラットフォーム	Windows XP (Service Pack 2)、Windows Vista (Business、Enterprise、MSDN バージョンは非サポート)
ソフトフォン	Cisco IP Communicator 2.1(3) 以降、Cisco Unified Video Advantage 2.0 以降(オプション)
コール制御	Cisco Unified Communications Manager 4.1(3) 以降 (Business Edition を含む)
プラグイン(クライアント側)	Cisco Phone Control and Presence with IBM Lotus Sametime **
IP テレフォニー — Cisco Phone Control with IBM Lotus Sametime *	
クライアント プラットフォーム	Windows XP (Service Pack 2)、Windows Vista (Business、Enterprise、MSDN バージョンは非サポート)
コール制御	Cisco Unified Communications Manager 4.1(3) 以降 (CTI 有効、Business Edition を含む)
プラグイン(クライアント側)	Cisco Phone Control and Presence with IBM Lotus Sametime **
IP テレフォニー — Click to Call and Conference with IBM Lotus Sametime *	
クライアント プラットフォーム	TCSPi ベースのテレフォニー機能をサポートする IBM Lotus Sametime クライアント プラットフォーム
コール制御	Cisco Unified Communications Manager 6.0 以降 (Business Edition を含む。Click to Conference については 7.0 以降)
プラグイン(サーバ側)	Click to Call and Conference with IBM Lotus Sametime
プレゼンス — Cisco Phone Presence with IBM Lotus Sametime	
クライアント プラットフォーム	Windows XP (Service Pack 2)、Windows Vista (Business、Enterprise、MSDN バージョンは非サポート)
プレゼンス サーバ	Cisco Unified Presence 6.0(2) 以降 ***
コール制御	Cisco Unified Communications Manager 5.1 以降 (Business Edition を含む)
プラグイン(クライアント側)	Cisco Phone Control and Presence with IBM Lotus Sametime **

コンポーネント	要件
会議 — Cisco Unified MeetingPlace Click to Conference with IBM Lotus Sametime Instant Messaging	
クライアント プラットフォーム	Windows XP (Service Pack 2)、Windows Vista (Business、Enterprise、MSDN バージョンは非サポート)
会議サーバ	Cisco Unified MeetingPlace 6.0 以降
プラグイン(クライアント側)	Cisco Unified MeetingPlace Click to Conference with IBM Lotus Sametime Instant Messaging
ユニファイド メッセージング — Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime	
クライアント プラットフォーム	Windows XP (Service Pack 2)、Windows Vista (Business、Enterprise、MSDN バージョンは非サポート) Apple Mac OS X 10.4.x (PowerPC では IBM 製 Sametime パッチが必要) Novell SUSE Linux Enterprise Desktop バージョン 10 Novell Linux Desktop バージョン 9 Red Hat Enterprise Linux バージョン 4
ボイスメール システム (IMAP が必要)	Cisco Unity 4.2 (Microsoft Exchange 2003 使用) Cisco Unity 4.2 (IBM Lotus Domino 使用) Cisco Unity 5.0 (Microsoft Exchange 2003 使用) Cisco Unity 5.0 (Microsoft Exchange 2007 使用) Cisco Unity 5.0 (IBM Lotus Domino 使用) Cisco Unity Connection 2.x
プラグイン(クライアント側)	Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime

* 「Cisco IP Communicator Click to Call with IBM Lotus Sametime」と「Cisco Phone Control with IBM Lotus Sametime」は、表 1 の「Click to Call with IBM Lotus Sametime」以外の他の機能とともに導入するか、または別々に導入するように設計されています。同様に、「Click to Call with IBM Lotus Sametime」は、表 1 の「Cisco IP Communicator Click to Call with IBM Lotus Sametime」および「Cisco Phone Control with IBM Lotus Sametime」以外の他の機能とともに導入するように設計されています。

** このプラグインでは複数の機能が提供され、管理者はそれらを任意に組み合わせて有効化できます。Notes 8.0.1 におけるこれらの機能は、2008 年第 3 四半期からサポートされる予定です。

*** Cisco Unified Presence 6.x は、ユーザあたり 2 つの Device License Unit を使用します。それ以降のバージョンでは、ユーザあたり 1 つの Device License Unit が必要です。

「シスコ ユニファイド コミュニケーション ソリューションは、固定およびモバイル ネットワーク上の、音声、ビデオ、データ、モバイルの各アプリケーションを統合し、時間と場所に制限されない容易なコラボレーションを可能にします。」

発注情報

Cisco Unified Communications with IBM Lotus Sametime は、表 1 に示した該当するシスコ ユニファイド コミュニケーションおよび IBM Lotus のコンポーネントをすでにお持ちであれば、無償で入手できます。

ソフトウェアは、次の URL の Cisco Software Center からダウンロードできます。

<http://tools.cisco.com/support/downloads/go/Redirect.x?mdfid=278875240>

「Unified Communications Applications」を選択し、次に「Cisco Unified Communications with IBM Lotus」を選択してダウンロードにアクセスします。

掲載されているシスコ ユニファイド コミュニケーション製品は、Cisco Unified Workspace Licensing の一部です。詳細な情報が必要な場合、また Cisco Unified Workspace Licensing がお客様の組織に適しているかどうかを確認する場合は、http://www.cisco.com/jp/go/workspace_licensing/ にアクセスしてください。

シスコ ユニファイド コミュニケーション サービス

シスコ ユニファイド コミュニケーション サービスは、セキュアで復元力に優れたシスコ ユニファイド コミュニケーション ソリューションの導入に伴うコスト削減と生産性向上の促進を実現します。シスコとシスコ認定パートナーによって提供されるポートフォリオは、固定およびモバイル ネットワーク上で、音声、ビデオ、データ、モバイルの各アプリケーションを統合する実証済みの手法に基づいています。シスコ独自のライフサイクル サービス アプローチは、お客様のテクノロジー環境を強化し、真のビジネス優位性をもたらします。

関連情報

IBM Lotus を使用したシスコ ユニファイド コミュニケーションの詳細については、下記の URL にアクセスするか、製品を購入された代理店にお問い合わせください。

http://www.cisco.com/web/partners/pr67/pr30/IPC/unified_commManagerPlug-In_Info.html

©2009 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0805R)
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-092-255 (通話料無料)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

お問い合わせ先